

【総領事館からのお知らせ:安全対策情報:10月】

平成24年10月15日(総12第26号)
在デンパサール日本国総領事館

1 治安情勢

8月中旬以降の中部ジャワ州ソロやジャカルタ等での多数のテロリスト容疑者の逮捕及び爆発物、起爆装置等が押収され、バリ島も爆弾テロの標的の1つとされていたことを受け、また、2002年バリ島爆弾テロ事件の10周年の慰霊祭が10月12日に行われたことも重なり、バリ島ではジャワ島からのテロリストの侵入を警戒し、各地で警備を強化する動きが見られます。

上記の10周年の慰霊祭は特に混乱なく実施されましたが、今後も引き続き、爆弾テロの標的となるような大勢の人が集まる場所等では、周囲の状況に最大限の注意を払うなど安全対策を講じるようにして下さい。

2 一般情勢

(1)交通事故への注意

バリ州では、車両の増加による交通渋滞が深刻化し、空港の拡張工事や主要道路の中央分離帯の工事などが行われ、交通事情は悪化していることから、運転には注意が必要です。無謀運転や未成年者による無免許運転がしばしば見られ、交通事故も各地で発生しています。

去る10月7日(日)の朝、ングラ・ライ・バイパス通りのサヌール地区で発生した観光バス5台及び乗用車の玉突き事故では、15人が重軽傷を負ってサンラ病院に搬送されました。同事件の発端は、先頭バスの前を、突然左から横切るように出てきたオートバイの無謀運転によるもの由です。

サンラ病院の統計によれば、交通事故が年々増加しており、昨年は年間450人が死亡、2,000人が頭部に負傷して搬送された模様です。

交通事故に巻き込まれないように注意することが大事ですが、万が一事故に遭遇した際の対応についても日頃から準備しておくことが有用です。事故の際の救急車、警察等への緊急連絡は、以下の番号を通じて行うことができます。

バリ州政府クライシス・センター 0361-251177 (24時間対応、英語可)

(2)振り込め詐欺への注意

当地においても振り込め詐欺による被害が後を絶ちません。最近、外国人を含めて実際に複数の被害が発生した手口として以下のようなものがあります。

子どもが学校で怪我をして国立サンラ病院のICUに搬送され緊急手術を受けなければならぬとの同病院の関係者を装った電話を受け、手術の手付け金として指定された口座にATMで振り込み、同病院のICUに駆けつけた後、搬送されているはずの子どもが見当たらず、学校へ電話してはじめて騙されたことに気づくというものです。

上記のケースでは、冷静になって、まず学校等へ電話をして確かめれば被害を未然に防げたものと考えられますが、緊急性を装った相手の電話に冷静さを失ってしまうことがあり得ることを自覚の上、詐欺の被害に遭わないような注意が必要です。

(3)メタノール混入の地酒

9月中旬、デンパサール市内レノン地区等において、メタノールが混入した地酒(アラック)を屋台食堂(ワルン)で購入して飲み、3名が死亡、1名が重体となる事件が発生しています。

3 邦人事故・事件関連

(1)邦人の交通事故死

9月22日未明、ングラ・ライ・バイパス通りクドンガナン(KEDONGANAN)地区において、二輪車を運転していた邦人旅行者が樹木に衝突して死亡する事故が発生しました。警察によれば、事故当時、同人は酒酔い状態であった様子です。

飲酒運転は当地で法律により禁止されています。軽い気持ちで飲酒運転をし、一旦、重大事故を起こしてしまえば、当地において社会問題として大きな批判を浴びることになります。飲酒運転は絶対にしないようにして下さい。

(2)両替所におけるトラブルの発生について

これまでも両替所における詐欺まがいの事例は散見されましたが、先月、レギャン地区の両替所において、邦人旅行者と両替所がトラブルになった事例がありました。被害者によると、マネーチェンジャーは、本人の目の前で、両替したルピアを巧みな技を使って数え、あたかも正確な金額があるように装いますが、両替したルピア札を本人の知らないうちに抜き取ってしまい、店を離れた後で、数え直すとかかなり少なくなっているというものです。

両替所で換金する場合、特に、多額のルピアに両替したときには、その場で最終的に自らが確認して、後でトラブルにならないようにして下さい。

以上